

<報道関係各位>

ベンキュージャパン株式会社  
2026 年 9 月 30 日

**MAYA 開発の「WORXHUB AI」で、進行役と助言役の AI がハイブリッド会議を主導！  
BenQ、AI 機能備える電子黒板「WORXHUB BQ05 シリーズ」を 2026 年 10 月 1 日(木)に発売  
～製品発表会で、MAYA と新たなオフィス DX の方向性を提示～**

ベンキュージャパン株式会社（本社：東京都千代田区、以下 BenQ）は、MAYA ビジネスソリューションズ（以下、MAYA）開発の AI ファシリテーター「WORXHUB AI」を搭載した電子黒板「WORXHUB BQ05 シリーズ」を 2026 年 10 月 1 日(木)に発売します。

本製品の発表に伴い、2026 年 9 月 28 日（月）に都内にて製品発表会を開催いたしました。発表会では、MAYA との協業背景や両社が提案する新たな会議環境について紹介するとともに、「WORXHUB BQ05 シリーズ」を披露しました。また、MAYA が描く AI ファシリテーター「WORXHUB AI」のコンセプトを公開し、ハードウェアと最先端 AI の融合による新たなオフィス DX の方向性を提示し、これからのハイブリッド会議における新スタンダードを発信しました。



「WORXHUB BQ05 シリーズ」は、5,000 万画素の超高解像度 4K カメラや合計 84W のスピーカーシステムを標準内蔵。さらに、最先端 OS である Android 16 と公式の Google EDLA 認証をいち早くクリアし、パスワード漏洩リスクのないタッチログイン機能とともに強固なセキュリティを実現しました。今後は、MAYA が開発を進める最先端の AI ファシリテーター「WORXHUB AI」への対応も予定しています。あらゆる規模のミーティングスペースに自信を持って常設できる圧倒的なバランス型モデルとして、進化し続ける安心・安全な次世代のビジネス環境を提供いたします。

| 機種名    | 画面サイズ | 発売日        | 想定売価   |
|--------|-------|------------|--------|
| BQ6505 | 65インチ | 2026年10月1日 | オープン価格 |
| BQ7505 | 75インチ | 2026年10月1日 | オープン価格 |
| BQ8605 | 86インチ | 2026年10月1日 | オープン価格 |

## 【MAYA と BenQ が共同で製品発表会を開催】

2026年9月28日（月）、東京都新宿区の京王プラザホテルにて、「WORXHUB BQ05 シリーズ」製品発表会を開催しました。当日は、MAYA との協業の経緯や、ハードウェアと最先端 AI の融合がもたらす新しいワークスタイルのビジョンが語られました。また、「WORXHUB BQ05 シリーズ」の3機種を披露。製品説明を通じて、両社が提案する次世代のハイブリッド会議の可能性を発信しました。

## ■「売る側」から「価値をつくる側」へ、BenQ との協業で WORXHUB を展開

MAYA TECHNOLOGIES 代表取締役社長の原田陽次氏が登壇し、BenQ との協業に至った経緯を紹介しました。原田氏は、これまでの電子黒板事業を振り返り、メーカーが開発した製品を日本で販売するだけでは MAYA 独自の価値を十分に生み出せないと考え、「売る側ではなく、価値をつくる側でなければならない」という思いに至ったと説明しました。

その中で出会ったのが BenQ です。原田氏は、台湾の BenQ 本社を訪問し、製品や開発現場に触れる中で、BenQ が持つディスプレイ技術と開発力に加え、製品を継続的に進化させる姿勢に魅力を感じたと紹介。特に、ディスプレイに AI やソフトウェアを掛け合わせることで新たな価値を生み出すという方向性が、MAYA の考えと一致したことから、協業を決めたと言いました。

今回の協業では、BenQ が世界で培ってきた技術と、MAYA が国内市場でお客様との対話を通じて得てきた知見を組み合わせ、独自の価値を備えた製品をつくることを目指します。WORXHUB を単なる電子黒板にとどめず、AI やアプリケーション、ソフトウェアを組み合わせながら進化させ、新たな IFP 市場をつくっていく方針を示しました。



## ■BenQ のハードウェアと MAYA の知見を組み合わせ、会議そのものを変える

続いて、BenQ Asia Pacific 代表取締役社長の Jeffrey Liang と、ベンキュージャパン株式会社代表取締役社長の菊地正志が登壇し、BenQ から見た協業の狙いを紹介しました。

Jeffrey は、今回の MAYA との協業を BenQ にとって重要な取り組みと位置づけ、BenQ のテクノロジーと、MAYA が持つ日本市場への知見やアイデアを組み合わせることで、日本のお客様へ新たな価値を届けていきたいと述べました。

菊地氏は、BenQ がディスプレイ技術を強みとし、世界130カ国以上で事業を展開しているグローバルブランドであることを紹介。モニターからプロジェクター、電子黒板までを展開する「ワンストップディスプレイソリューション」を通じて、さまざまな映像体験を提供していると説明しました。



また、BenQ では電子黒板を単なる「大きな画面」ではなく、オンライン会議やクラウドサービス、各種アプリケーション、AI などが一つの画面を中心につながるプラットフォームとして捉えていると紹介しました。最新製品では AI 処理を担う NPU を搭載するなど、BenQ の電子黒板は、映像を表示するためのディスプレイから、ソフトウェアや AI によって進化を続けるデバイスへと変わりつつあると説明しました。

「WORXHUB BQ05 シリーズ」は、こうした BenQ のハードウェアをプラットフォームとして、MAYA が日本市場で必要とされる価値を加えた製品です。BenQ の製品開発力とハードウェア技術に、MAYA が持つ日本企業への知見や企画力を組み合わせることで、「見るだけの会議」から、参加者が議論に加わり、次のアクションにつなげる会議への転換を目指します。

## ■65・75・86 インチの 3 機種を披露、AI が意思決定と課題解決を支援

両社代表の挨拶後、カウントダウン映像に合わせて幕が引かれ、65 インチ、75 インチ、86 インチの「WORXHUB BQ05 シリーズ」3 機種が披露されました。

続いて、MAYA ビジネスソリューションズ IFP 事業部の渡邊睦氏が登壇し、「WORXHUB の新たな可能性」をテーマに製品を紹介しました。

渡邊氏は、カメラ、マイク、スピーカー、OS を本体に内蔵したオールインワンモデルであることを紹介。電源コードを接続すれば、対面・オンラインを問わず、スムーズにコミュニケーションを開始できることから、会議におけるコミュニケーションの中心となる製品を目指していると説明しました。

さらに、ハードウェアの提供に加え、今後はアプリケーションやソフトウェアも展開していくとし、その第一弾として、MAYA が開発を進める AI ファシリテーター「WORXHUB AI」を紹介しました。

「WORXHUB AI」は、単に議事録を作成するのではなく、「事実把握」「原因分析」「ゴール設定」「対策の決定」「まとめ」の 5 段階で会議を進行し、意思決定と課題解決を支援します。紹介映像では、議論の脱線や話題の重複、沈黙を AI が検知する機能のほか、会議内容を要約し、決定事項や次の行動を参加者の端末へ共有する機能が披露されました。



## ■BenQ のハードウェアを基盤に、会議で生まれる知見を企業の資産へ

MAYA ビジネスソリューションズ 社長執行役員兼 CDX 事業本部長の曾山秀二氏が登壇し、WORXHUB の事業戦略を紹介しました。

曾山氏は、黒板からホワイトボード、プロジェクター、大型ディスプレイ、電子黒板へと仕事の道具が進化してきた一方、会議の進め方や、決定事項を次の行動につなげる仕組みは十分に進化していないと指摘しました。さらに、意思決定の遅れは、営業や商品開発、採用、お客様への対応の遅れにもつながると説明しました。

また、会議や商談、研修、採用面接などで交わされる会話には、企業にとって重要な判断やノウハウが含まれているものの、その多くが記録・共有されず、個人の中にとどまっていると説明。WORXHUB では、会議の効率化にとどまらず、企業内で生まれるコミュニケーションを蓄積し、会社の知識や資産へ変えていくことを目指すと語りました。



曾山氏は、AI が人間に代わって会議の結論を決めるのではなく、人が考え、決定する過程を AI が支援することが重要だと説明しました。議論が散らかった際の整理、論点のずれの指摘、過去の決定事項の確認、発言していない参加者への気づき、次の行動の整理などを通じて、人間の意思決定を AI で強化することが、WORXHUB の目指す姿であると紹介しました。

今後は、BenQ が持つハードウェアを基盤に、MAYA が AI やソフトウェアを実装し、お客様の課題に応じた機能を形にしていく方針です。会議を起点に、商談、研修、採用などへ活用の幅を広げ、企業のコミュニケーションを変えるプラットフォームへと進化させていく考えを示しました。

## 「WORXHUB BQ05 シリーズ」の主な特長

### ■最高峰のAVシステムで臨場感を創出

会議室にいる参加者の表情まで鮮明に捉える 5,000 万画素の超高解像度 4K カメラと、最大 12m 先までの声を正確に拾い上げる 8 基の全指向性マイクを標準内蔵。さらに、12W2 基のスピーカーと 30W2 基のサブウーファーで構成された合計 84W のスピーカーシステムを搭載。映画館さながらの豊かでクリアな重低音と聞き取りやすい音質により、遠隔地の相手がまるで同じ部屋にいるかのような圧倒的な臨場感を実現し、離れた拠点間の物理的な距離感を完全にゼロにします。

### ■進行・助言を行うAIファシリテーター「WORXHUB AI」を搭載予定

MAYA が開発中の AI ファシリテーター「WORXHUB AI」※1を搭載予定で、発言者をリアルタイムで自動追跡するだけでなく、進行役の AI であるワークスが開始や議題の切り替え、時間配分をサポート。さらに、助言役の AI であるコーチが議論の要約、論点整理、新たなアイデアの提示や見落としの指摘を行い、会議や研修を強力に支援します。決定事項や誰がいつまでに何を行うかといったネクストアクションも AI が自動要約し、終了時に QR コードで瞬時に共有可能にします。

※1「WORXHUB AI」は現在開発中であり、「WORXHUB BQ05 シリーズ」の提供開始時期と異なる可能性があります。



### ■高精度な共同編集と健康を守るアイケア機能搭載

複数人が同時に書き込んでも精密に追従するホワイトボード機能を搭載。遠隔地の PC やスマホからでも、同じ画面へリアルタイムにアイデアを同時書き込みできます。

またディスプレイガラス表面には、日本が誇る SIAA 抗菌認証を取得したナノイオンシルバー技術を採用。さらにブルーライトカット、ちらつき防止のフリッカーフリー、反射防止のアンチグレアを統合した独自のソリューションが、長時間の議論でも社員の健康、衛生、そして集中力をサポートします。

### ■公式認証とタッチログインによる強固なセキュリティ

Google EDLA 認証を取得しているため、Google Play ストアから使い慣れたビジネスアプリを 100%安全に直接ダウンロード可能です。常に最新かつ強固なセキュリティアップデートがオンラインで自動配信されるため、企業の重要な機密情報を扱う会議でも情報漏洩を防ぎます。

さらに、専用 IC カードを本体の NFC センサーにタッチするだけで、パスワード漏洩リスクのない安全なログイン環境も実現しています。

「WORXHUB BQ05 シリーズ」製品仕様表

| 製品名             | BQ6505                                           | BQ7505                  | BQ8605                  |
|-----------------|--------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 画面サイズ           | 65 インチ                                           | 75 インチ                  | 86 インチ                  |
| 消費電力（標準値）       | 75.8W                                            | 82.7W                   | 115.2W                  |
| 外形寸法（W×H×D）     | 1,491.1×927.8×101.0mm                            | 1,711.3×1,051.2×101.0mm | 1,960.2×1,191.2×100.5mm |
| 梱包時外寸（W×H×D）    | 1,628×1,014×185mm                                | 1,863×1,140×185mm       | 2,110×1,291×185mm       |
| 本体重量/総重量        | 29.2kg/37.4kg                                    | 39.9kg/52.1kg           | 56.5kg/65.5kg           |
| VESA マウント       | 600×400mm                                        | 800×400mm               | 800×600mm               |
| ネジ仕様            | 4-M8×25mm                                        | 4-M8×25mm               | 4-M8×25mm               |
| 本体希望小売価格（税別）    | オープン価格                                           |                         |                         |
| 貼り合わせ技術         | ゼロボンディング（Zero Bonding）                           |                         |                         |
| バックライト/パネルタイプ   | DLED/VA                                          |                         |                         |
| アスペクト比          | 16:9                                             |                         |                         |
| 解像度             | 3,840×2,160（4K UHD）                              |                         |                         |
| 輝度（標準値）         | 500cd/m <sup>2</sup>                             |                         |                         |
| コントラスト比         | 5,500:1（標準値）/50,000:1（ダイナミック）                    |                         |                         |
| 視野角             | 水平 178°/垂直 178°                                  |                         |                         |
| リフレッシュレート       | 60Hz                                             |                         |                         |
| 応答速度            | 6.5ms                                            |                         |                         |
| パネルビット数         | 10-bit                                           |                         |                         |
| パネル寿命           | 50,000 時間                                        |                         |                         |
| 連続稼働時間          | 18 時間/7 日間                                       |                         |                         |
| ガラス             | 硬度 9H/強化ガラス 3.2mm                                |                         |                         |
| 抗菌・表面処理         | nano イオンシルバー抗菌/アンチグレア、ヘイズ 25%                    |                         |                         |
| タッチ方式           | 高精度赤外線方式（Precision IR）                           |                         |                         |
| タッチ精度・応答速度      | ±2.0mm/5ms 未満                                    |                         |                         |
| 最大タッチ点数         | Windows: 50 点/Android: 50 点                      |                         |                         |
| オペレーティングシステム    | Android 16.0（EDLA）                               |                         |                         |
| CPU             | オクタコア（A72×4+A53×4）                               |                         |                         |
| GPU/NPU         | Arm Mali-G52 MC3/6 TOPS                          |                         |                         |
| メモリ/ストレージ       | 8GB/128GB                                        |                         |                         |
| 内蔵カメラ           | 4K UHD/5,000 万画素、オートフォーカス、プライバシーカバー、AI オートフレーミング |                         |                         |
| スピーカー           | 24W（12W×2）                                       |                         |                         |
| サブウーファー         | 60W（30W×2）                                       |                         |                         |
| アレイマイク          | 8 基、最大集音範囲 12m、エコーキャンセレーション・ノイズサプレッション対応         |                         |                         |
| Wi-Fi/Bluetooth | Wi-Fi 6.0/Bluetooth 5.2                          |                         |                         |
| ソリューション         | X-Sign Broadcast、InstaShare 2、EZWrite 6、AMS      |                         |                         |
| 付属品             | リモコン、電源コード、スタイラスペン×2、スタートガイド、タッチ用 USB ケーブル、      |                         |                         |
| オプション           | 移動式スタンド、BYOD/BYOM キット、画面投影用ワイヤレスドングル             |                         |                         |

## ■MAYA ビジネスソリューションズについて

---

働く人々の最高のパフォーマンスを阻む課題を、総合通信ソリューションで解決する。見過ごされた、あきらめられた、あたりまえになってしまっていることを解決することを常に考え、身近な人の、顔も知らない誰かの、社会の人々の不便さにどこよりも気づく会社でありたい。MAYA ビジネスソリューションズは、総合通信ソリューション企業として、世の中に存在する不自由を解決するソリューションを常に創出し、提供していきます。

**MAYA**  
BUSINESS SOLUTIONS

## ■BenQ について

---

BenQ Corporation は、1984 年の設立以来、「Bringing Enjoyment and Quality to Life」をコーポレートビジョンとして掲げ、生活に楽しさとクオリティをお届けすべく、最新のテクノロジーとライフスタイルを結びつけるユニークな製品を生み出してまいりました。

現在ではライフスタイル、ビジネス、ヘルスケア、教育という4つの事業領域にフォーカスし、お客さまの生活にとって大切なコト(さまざまな出来事や場面)をさらに輝かせる価値のあるモノ(製品やサービス)のご提供を続けています。

**BenQ**

## ■製品情報 URL

WORXHUB BQ05 シリーズ：<https://worxhub.jp/bq05-series/>

ニュースページリンク：<https://www.benq.com/ja-jp/business/news/news-maya-bq05.html>

ベンキュージャパン株式会社 ウェブサイト：<https://www.benq.com/ja-jp/index.html>

## ■お客さまお問合せ先

ベンキュージャパン テクニカルサポートセンター 0570-015-533

月曜から金曜 9:30~17:00 土日祝日・弊社指定日を除く

E-mail お問合せ：[support@benq.jp](mailto:support@benq.jp)